



国後 択捉
自然豊かな北方領土の島々



2月7日は「北方領土の日」

1981年(昭和56年)政府は閣議了解により、2月7日を「北方領土の日」に定めました。この2月7日は、1855年(安政元年)日露両国の国境を択捉島とウルップ島の間と定めた「日露通好条約」が静岡県伊豆下田で平和裏に署名された日です。毎年2月7日には、内閣総理大臣が出席して「北方領土返還要求全国大会」が東京で開催されるとともに、全国でも様々な返還運動が行われ、国内外に向けて北方領土の返還要求を発信しています。



平成28年 北方領土返還要求全国大会

平成28年度 北方領土に関する標語・キャッチコピー最優秀作品

しま 四島の未来 心がよわせ 返還へ

独立行政法人 北方領土問題対策協会

〒110-0014 東京都台東区北上野1-9-12 住友不動産北上野ビル9階
電話 03(3843)3630 FAX 03(3843)3631
<http://www.hoppou.go.jp/>

<https://www.facebook.com/hoppouyoudo.erika>
https://twitter.com/hoppou_erika



北方領土返還要求
シンボルマーク
発行：平成28年11月

北方領土とは…

北方領土は、北海道本島の北東洋上に位置する、歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の4つの島々のことです。四島の総面積は5,003km²で福岡県の面積に匹敵する大きさです。また、最も近い歯舞群島の貝殻島(かいがらじま)までは根室半島の納沙布岬からわずか3.7kmしか離れていません。気候は、寒暖の差が比較的穏やかで、2月の平均気温は-6℃前後で、最も暑い8月でも平均気温は15℃前後です。北方領土には、ヒグマ、キタキツネ、シマフクロウ、エトピリカなどが生息しています。また、周辺海域は海流の影響で水産資源に恵まれ、サケ、マス、カニなど魚類の宝庫です。

面積の比較



本土からの距離の比較(単位:km)



終戦時の北方領土居住者数

合計17,291人



北方領土問題とは…

北方領土は、日本がどの国よりも早くその存在を知り、多くの日本人がこの地域に渡航し、生活をし、父祖伝来の地として受け継いできたもので、いまだかつて一度も外国の領土となることがない我が国固有の領土です。しかし、1945年8月9日、ソ連は、当時まだ有効であった日ソ中立条約に違反して対日参戦し、日本がポツダム宣言を受託し降伏の意図を明確に表明した後の8月18日から千島列島への攻撃を開始し、8月28日から9月5日までの間に北方領土への進撃を行い、北方領土すべてを占領しました。それ以降、今日に至るまでソ連、ロシアによる法的根拠のない占拠が続いており、日本政府はロシアとの間で、四島の帰属の問題を解決し、平和条約を締結するとの一貫した方針の下、粘り強く交渉していますが、現在北方領土が日本人が住むことが出来ない日本の島となっている事、またそれにより日露の平和条約が結ばれていない事、これが北方領土問題です。

北方領土の元居住者

北方領土には、終戦時3,124世帯、17,291人の日本人が住んでいました。(平成20年3月千島歯舞諸島居住者連盟調べ:元居住者の人数は、昭和20年8月15日現在において6月以上北方四島に居住していた者の数) 島民の約半数は、ソ連軍の厳しい監視の目をくぐって故郷の島々を脱出しました。それ以外の島民は、昭和22年から23年にかけて劣悪な環境の樺太経由の引き揚げを余儀なくされました。

たくさんの日本人が住んでいました



択捉島 3,608人

北方領土問題の経緯

● 日本領 ● 日本・ロシア混住地 ● ロシア/ソ連領 ○ 帰属未定

1855年 日魯通好条約



1855年(安政元年)2月7日、現在の静岡県下田市において締結され、下田条約とも呼ばれています。この条約で両国の国境は、択捉島とウルップ島の間に決められ、樺太は両国民の混住の地と決められました。

1875年 樺太千島交換条約



1875年(明治8年)、日本は、千島列島をロシアから譲り受けるかわりに、樺太全島を放棄しました。

1905年 ポーツマス条約



1905年(明治38年)、日露戦争の結果、北緯50度以南の南樺太が日本の領土となりました。

1951年 サン・フランシスコ平和条約



1951年(昭和26年)、日本は、千島列島と南樺太の権利、権原及び請求権を放棄しました。しかし、放棄した千島列島には北方領土は含まれていません。